

発電の効率化探る

上田氏と党神奈川県議団

横浜市

最先端の石炭火力発電所を視察

公明党神奈川県本部は10日、Jパワー(電源開発)の磯子火力発電所(横浜市磯子区)と党神奈川県議団(鈴木秀志団長)を視察した。

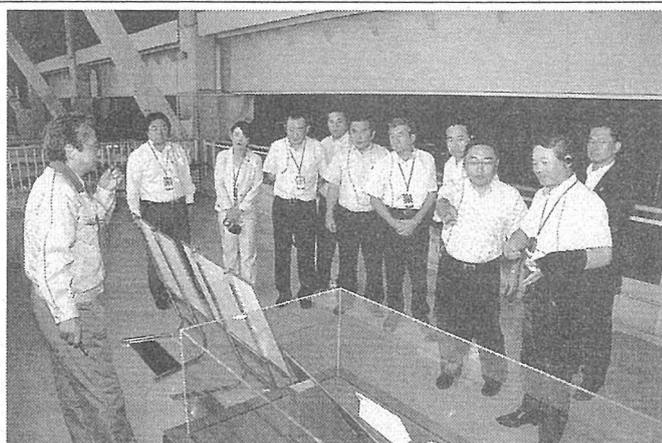
位置する同発電所は、最先端の技術を取り入れた石炭火力発電所。発電出力は120万キロワット。タービンを回す蒸

気の温度と圧力を高め、世界最高水準の発電効率を達成して二酸化炭素(CO₂)の発生を抑制。さらに、国内初の乾式排煙脱硫酸装置を取り入れるなど、発電電力当たりの大気汚染物質排出量を世界トップレベルまで削減することに成功した。

発電所の関係者によれば、日本の石炭火力発電による硫黄酸化物や窒素酸化物の排出量は欧米と比べても極めて少ない。中近東に偏って産出される石油が、政治不安の影響を受けやすいのに対し、石炭は世界中に広く分布し

ていることから手に入れやすく、値段も安定しているという。

今回の視察を踏まえ、上田県代表は「安全・安心のエネルギーを確保するため、発電効率を高めるなど、システムの推進に全力を挙げたい」としている。



磯子火力発電所を視察する上田氏(右から3人目)と党神奈川県議団